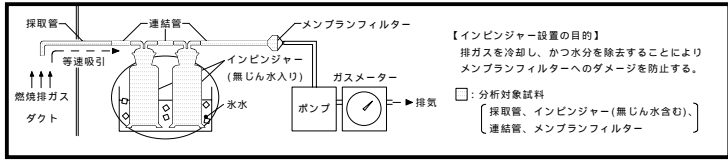


廃棄物処理施設に係る石綿のサンプリング・分析方法の概要 [ 暫定版 ]

項目		サンプリング方法	分析方法
気体	敷地境界	環境庁告示第93号（平成元年12月27日）に準拠	同左 必要に応じて電子顕微鏡使用
	発じん状況調査	作業環境測定基準 労働省告示第46号（昭和51年4月22日）及び作業環境測定ガイドブック1（厚生労働省安全衛生部環境改善室編）に準拠	同左 生物顕微鏡を併用 必要に応じて電子顕微鏡使用
	排出ガス 燃烧排ガス	JIS Z 8808（排ガス中のダスト濃度の測定方法）に準拠 メンブランフィルターの前にインピンジャー（無じん水入り）を設置  サンプリング概念図（一例）	分析対象試料：採取管、インピンジャー（無じん水含む）、連結管、メンブランフィルター（採取管等に付着したダストを無じん水で洗浄し、インピンジャー内の無じん水と合わせる） 環境庁告示第93号（平成元年12月27日）に準拠 必要に応じて電子顕微鏡使用
	破砕ガス	JIS Z 8808（排ガス中のダスト濃度の測定方法）に準拠 （円形ろ紙法による捕集とし、インピンジャーの設置を除き燃焼排ガスと同様）	環境庁告示第93号（平成元年12月27日）に準拠 必要に応じて電子顕微鏡使用
固体 <sup>1)</sup>	1回あたり数百gを複数回採取し、混合して1検体	JIS A 1481（建材製品中のアスベスト含有率測定方法）に準拠 水分散、溶出等の前処理を行った試料は、JIS A 3850（空気中の繊維状粒子測定方法）に準拠	
液体 <sup>2)</sup>	1回あたり数百mLを複数回採取し、混合して1検体	・生物顕微鏡を併用 ・必要に応じて電子顕微鏡使用	

1) 固体：焼却灰、集じん物（集じん灰含む）、スラグ、破砕残さ等

2) 液体：焼却灰冷却水、スラグ冷却水、原水等

< 計数法（位相差顕微鏡 + 生物顕微鏡）で直接計数し難い試料等を分析する場合（一例） >

排出ガスにおける集じん装置入口等、付着粉じん量が多い試料は、水分散を行った後計数法で分析する [ 水分散法 計数法 ]

水分散法：試料 無じん水による超音波分散 抽出液分取 無じん水添加 振とう 吸引ろ過 ろ紙 低温灰化（必要に応じて） 計数法へ（必要に応じて電子顕微鏡使用）

破砕残さ（磁性物）は溶出操作を行った後計数法で分析する [ 溶出法 計数法 ]

溶出法：試料 溶出 金属メッシュによる1次ろ過（粒径大を除去） 吸引ろ過 ろ紙 低温灰化（必要に応じて） 計数法へ（必要に応じて電子顕微鏡使用）

サンプリング・分析方法は、検討要素が多く残されているため、暫定版として取り扱う。